

財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

第2回 幼児教育実践学会

〔本学会の位置付けは、本財団が主催する実践を中心とした全国研究会です。〕



第1次案内

●テーマ 幼児教育の成果を社会に示そう

～いま幼児教育の実践を 現場の保育者と研究者が 手を携えながら～

●趣 旨

すべての幼児教育の現場の実践を豊かにし、幼児教育の有用性を社会に示すことで、子どもの育ちが最優先される社会が実現されることを目指して、平成22年度、幼児教育実践学会がスタートしました。(本学会では、次ぎの3つの柱により学会運営を行ないます①発表者には、実践を踏まえた研究発表を行っていただき、できるだけ映像等を使用していただきたい②参加者には、生きた研修のメイキングの仕方を学んでいただき、地区から都道府県から各園に情報等を広めていただきたい③本学会は、現場と共に歩む若手研究者を育てたい)

●期 日 平成23年8月20日(土)・21日(日)

●予定会場 東京都板橋区・東京家政大学 板橋キャンパス

〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1

J R・埼京線 十条駅より徒歩5分

●参加資格 幼児教育関係者

●定 員 500人

●参加費 4,000円(21日昼食費含む)

問い合わせ先(参加の方法、研究発表の方法、学会内容など)

財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館4階(担当:勝倉)

☎ 03-3237-1080 Fax 03-3263-7038

大会の流れ

○第1日目（受付開始 11：30）

11：30～ 受付	12：30～13：30 開会式 表彰式	13：30～17：00 基調講演 玉川大学准教授 大豆生田啓友 氏 学会企画シンポジウム	17：20～19：00 保育者と研究者 の交流懇親会
--------------	---------------------------	---	----------------------------------

※「表彰式」では、本財団の平成22年度優秀教員表彰者を表彰します。

※「保育者と研究者の交流懇親会」は、立食・軽食とし、会費（3,000円）は参加費とは別途徴収予定。

○第2日目（受付開始 8：45）

9：10～10：50 全体研究課題発表 日々の保育実践から組み立てる 園内研修 (福岡県・きらきら星幼稚園)	11：00～12：10 ポスター発表	12：00～12：50 昼食休憩	13：00～16：30 13：00～14：30 口頭発表 14：40～15：30 口頭発表 15：40～16：30 口頭発表
--	-----------------------	---------------------	--

各地区・各都道府県 担当者の皆様へ口頭発表のお願い

○各地区・各都道府県より1提案の口頭発表ができるだけお願い致します。

※詳細は以下をご覧下さい

園・個人・研究者で研究発表を希望される方へ

○園・個人・研究者での研究発表は、ポスター発表に限らせて頂きます。

※詳細は以下をご覧下さい

参加を希望される方へ

第2回学会への参加申し込み期間は、平成23年6月1日（水）～30日（木）です。

○参加を希望される方は、事前申し込みが必要です。参加者は、「参加申込書」に必要事項を記入し、平成23年6月30日（木）までに、所属の都道府県団体事務局の指示に基づいて、所属の都道府県団体事務局へ「参加申込書」を送付してください。また、参加費4,000円（21日昼食費含む）も「参加申込書」と同様に、所属の都道府県団体事務局の指示に基づいて、所属の都道府県団体事務局へ送金してください。原則、当日参加は受け付けません。

○定員に達し次第、締め切らせて頂きますのでご了承下さい。

※参加申込書の様式詳細は、後日あらためてご案内させていただきます。

【発表資格】

発表者は、次の条件を満たしていることが必要です。

- ① 幼児教育の実践に携わっていること。あるいは、実践を基に研究を行っていること。
 - ② 地区・都道府県の口頭発表申し込みは平成23年3月末までに、園・個人・研究者のポスター発表は平成23年5月末までに提出済みであること
 - ③ 発表要旨を平成23年5月末までに提出済みであること
 - ④ 発表者は大会に参加して発表並びに討論・質疑応答に参加すること
-

【研究・発表形態と条件】

- ① 保育実践をより豊にすることを目指すことから、実践を踏まえた研究であること。
 - ② 特に地区からの発表には、現場と共に歩む研究者を育てる意味からも、できるだけ大学等の共同研究者にも参加して頂きたい。
 - ③ 研究発表が一方的な発表に終わるのではなく、参加者が提案事例をより共有しながら進められるように出来れば動画や写真など映像等を用いていく。
 - ④ 既発表のものでも構いません。
 - ⑤ 発表は園児、保護者等の個人情報等の管理等について発表者の責任において行ってください。
-

【発表申込方法】

① 口頭発表（地区・都道府県）

- ・メールによる事前申し込みが必要です（同封別紙参照）
- ・口頭発表事前申込受付期間：平成23年3月14日（月）～3月31日（木）
- ・発表要旨〆切り：平成23年5月31日（火）

※本財団メールアドレス：info@youchien-kikou.com

※発表要旨の様式詳細は申し込み後にお知らせします。

② ポスター発表（園・個人・研究者）

- ・郵送での申し込みとなります。
- ・郵送申し込み〆切り：平成23年5月31日（火）
- ・発表要旨〆切り：平成23年5月31日（火）

※ポスター発表の申込書及び発表要旨の様式詳細は、後日あらためてご案内させていただきます。

【発表要領】

① 口頭発表（地区・都道府県）（1セッション90分 or 60分）

発表時間は1発表につき30分～45分程度、残りの時間を質疑応答協議とします。発表後、座長の進行で討論を行います。

発表に際しては、出来るだけ実践での映像等を用いて参加者が提案事例をより共有しやすいようにして下さい（P Cは各自持参のこと）

② ポスター発表（園・個人・研究者）（1セッション60分）

- ・発表者は、縦180cm×横90cmのスペースに実践研究の要旨・図・表・写真などを貼ったポスターを準備し、会場で質問に答えながら自由に討論を深めます。セッション時間中は、必ず60分在籍してください。
 - ・発表ポスターは各自が持参し、1日目に所定の場所に貼って、終了後各自で撤収し、持ち帰り下さい。
-

【発表区分】

- ・研究発表希望者は、本財団の研修俯瞰図の内容区分から選択してください。
-

【その他】

※地区からの口頭発表に関してのみ、発表者1名（本財団正会員の私立幼稚園教員）と共同研究者（大学教員等）の計2名分に対して旅費（貴都道府県所在地から東京までの往復）、宿泊費（遠方地域のみ、1泊分）を本財団が負担します。都道府県からの発表については各都道府県の負担でお願い致します。

※開催期日は、東京家政大学の関係で3月に正式に確定します。

※第2次案内は3月末頃を予定しています。

※宿泊先の確保、交通チケットなどは各自でご予約ご購入ください。

○幼児教育実践学会の3つの柱

【1】この学会で行う研究は、保育現場での実践を踏まえ、発表は事例を使って、現場にフィードバックできることを念頭に研究会では参加者同士が活発に意見交換を行う。

- ア. 保育実践をより豊にすることを目指すことから、実践を踏まえた研究であること。
- イ. 研究発表が一方的な発表に終わるのではなく、参加者が提案事例をより共有しながら進められるように出来れば動画や写真など映像等を用いていく。
- ウ. 保育実践者や研究者など参加者同士が活発に意見を交わす事を大切にしながら保育現場にフィードバックできる生きた研究になることを目指して行く。

【2】生きた研修のメイキングの仕方を学び、全ての園の園内研修が充実するよう

今、私立幼稚園が存在意義を示し永続していくために、すべての私立幼稚園、一園一園の保育の質の向上、つまり一園一園の保育者、保育者集団の資質向上が求められている。そのためには、対外的な研修もさることながら、各々の園で行われる”園内研修”が質を高めるための根幹となるべきである。園内研修は、日々同僚性の中で効果的に行われ、保育者が仲間に支えられながら自信をもつことができたり、課題を明確にしたり、結果的に教師集団としての質が高まっていくことが重要である。つまり、比較的経験の浅い先生の多い私立幼稚園では、保育者同士が互いに同僚性の中で支え合いながらチーム〇〇幼稚園として力を發揮していくことが重要ではないだろうか？そのためには、この実践学会の役割の一つとして、生きた研修のメイキングの仕方を学び実践学会から地区へ、そして最終的には全ての園の園内研修に活かし私立幼稚園の質の向上を目指す。

【3】現場と共に歩む若手研究者を育てる

研究のフィールドを保育現場におき、保育者や園長など保育実践者と共に歩んでくれる、子どもにとってふさわしい保育や暮らしがより豊になるように実践を理論的に支えてくれる若手研究者を育てていく。

以上